

SSH マンスリー

スーパーサイエンスハイスクール通信



おもしろ科学まつり

子供たちに科学の楽しさを伝えるイベント「2012 おもしろ科学まつり・和歌山大会」が十二月十五日、十六日に和歌山大学で開催され、本校も生徒と教員合わせて十九名が参加してきました。これまで過去十六回にわたって参加しており、今回は三ブース担当しました。



レゴロボット・ソーラーカー
燃料電池カーを走らせてみよう



飛ぶ種の仕組みに迫ろう

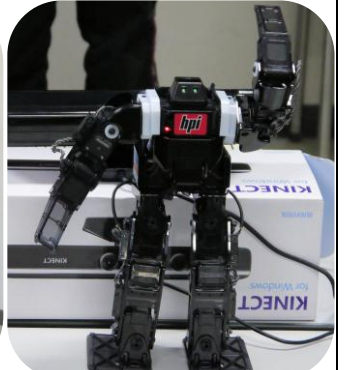
本校科学部からは、教養理学科の二年生がSITPの中で組み上げた人型のロボットを始め、ライントレースしながら走るレゴロボットや、ソーラーカー、燃料電池カーなどを展示・実演と合わせて実際に体験してもらいました。子どもたちは、最初、自分と同じ動きをするロボットを不思議そうに見ていましたが、一度体験

ものが集まりました。毎年、大学や小中高の教育機関、企業などが参加していますが、今年は四十七ブース出展されました。

中でも注目されたのが、ノベル医学・生理学賞を受賞した京都大学の山中伸弥教授が開発したヒトiPS細胞を顕微鏡で観察することができるブースで、多くの来場者が足を運び、様々な質問をしていました。

すると、夢中になってロボットを動かしていました。

また、もう一つのブースでは、アルソミトラ等の飛ぶ種の展示とそのクラフトを作成してもらいました。参加してくれた子どもたちは、シールの貼る位置を変えたり、飛ばし方を調整するなど試行錯誤しながら飛距離を伸ばしていました。生徒は、小学生未満の小さい子どもたちも対象とするので、わかりやすい言葉を選んで説明したり、その子に合わせて作業を手伝ってあげたりとけっこう大変でしたが、工夫しながら取り組む、貴重な体験をすることができました。



第2回 SSI (Student Science Instructor)



ニトロセルロースの燃焼

海南高校のみなさんへ
今日、短い時間でしたがとても楽しく勉強になったのでよかったです。また野上小学校に来て実馬会をしてください。新しい実馬会も楽しみにしています。空気がたまって雲になるのは理科でやったことがあります。しかしそれ以外は初めて見る実馬会でした。不思議だなあとかき問に思う部分もいくつかありました。ただし印象にのこしたのは、ドライアイスより冷たいものにけしなどつける実馬会です。本当にありがとうございました。

十月三十日、紀美野町立野上小学校の小学四年生を対象に科学教室を行いました。対象児童は2クラス三九名で、科学部の生徒を中心に実施しました。行った実験の中でも「色の変わる水」が特に好評で、色の変わる瞬間を観察できた児童は、不思議そうに何度も変化を観察していました。左は参加児童の感想文です。